とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
本紙購読料　1カ月100円　1カ年前納1,000円

地元は五千票を目標に

道議選へ 動きだした宮口政雄後援会

池北線から明年の道議選になんとか候補者を立てて必勝を期そうという足寄町内各層の動きが煮つまって町議会総務委員長の宮口政雄氏の推薦、擁立がきまって十月十二日に同氏の足寄後援会が結成されたのにつづいて、二十八日にはその拡大大会がひらかれて規約や役員をきめ、いよいよ本格的な後援会活動に入りました。(写真は大会であいさつの宮口氏)

拡大大会の会場の林業会館には「みんなの団結で郷土に灯と繁栄を」「明るく豊かな足寄町の為に清潔な政治力を」「頑張れ青年宮口！ぶっつけろ若さを」「みづからの力で築こう足寄町」などのスローガンがかかげられ、はじめに世話人代表の大滝弥助氏からあいさつと経過報告があつて、議長に工藤勇作氏を推して後援会の規約を審議、決定したあと、役員に

△相談役　小林弘道　斉藤昇　新沼芳雄　斎藤祐一　嶺和衛

△会長　大滝弥助

△副会長　日景健治　羽磨欣一　柴田栄一　河向一夫　石田富男　秋林専三郎　久保正夫　鷲足憲　菅崎静　大浦勉　加藤満　横田文治

△幹事長　岡崎薫

の各氏をきめ、幹事以下の役員はさらに巾ひろく選考することになりました。

このあと宮口氏のあいさつ、創価学会理事西岡正氏(帯広市西岡建設社長)から

このように朝からの会合では帯広ならせいぜい五六名くらいと思われるのに、こんなに多勢が参集され感謝にたえない、いまや野党再編成への動きのなかで公明党は重要な立場にあるが地方自治体の場合は無所属の方がむしろ政党にしばられないで住民のために活動し易い、宮口氏が無所属であつても十勝の公明党は全面的に協力しており、十九カ町村の同志は一丸となつて宮口氏の必勝を期している、地元の町長さん、議長さんをはじめ町の有志の方々がこのように熱心に結集されたことはまことに心強い

と祝辞をのべ、つづいて小林町長から

いま足寄で一番忙しいのは宮口氏で、日中は町内まわり夜分は管内めぐりで毎日寝る時間は一、二時間ではないだろうか、そのつぎは私で宮口氏とは同年で青年団当時には多くの県案問題をかかえているわが町からなんとか道議をおくり出して頂き、岡崎さんいらいの空白をうめて頂きたいと激励のことばなどがあつて、こんごの活動対策について協議しましたが、各町内、部落に後援会の支部を設けること、管内十八ヵ町村に後援会を設けてゆくとともに連合会を結成することなどをきめ、多田梅松氏の音頭で宮口氏の万才を三唱して大会をおえました。

当選の可能性

○…この日の後援会事務局側の説明によれば、足寄、本別、陸別の三町以外の十六ヵ町村の公明党・創価学会票は七、八三〇票で、これより ふえてもへらない固い票田とのことで、これに隣町のよしみで本別からは一、八〇〇票、陸別からは一、三〇〇票、地元足寄からは五、〇〇〇票が確保されれば一五、九三〇票で当選の可能性ありとしています。

○…昭和三十四年の故岡崎光三氏の場合は、足寄からは六、〇八七票、本別からは三、四一八票、陸別からは一、六八七票で、総得票の八割を三町で占めていて他の十六ヵ町村からはわずかに二、五五四票だったのにくらべると、宮口氏の場合は無所属とはいえ公明党創価学会の組織にのつて全管内的にはじめから八千票の固定票をもつていることですが、問題は地元の態勢いかんということになります。

○…岡崎氏の場合は地元木材業界の大手で二十五年来の消防団長であつて自民党支部長という保守候補にはうつてつけの立場にあつて六千票の大台を突破したものの、宮口氏の場合はこの保守浮動票をどこまで獲得できるかということで、いまのところ地元での五千票はなかなか容易なものではないとのみかたですが、地元から道議をとの声がどこまで結集するかということ

立ち遅れの日本

カナダにつづいて七日にイタリアが中国と国交を回復

×　×

世界の大国のなかで中国を認めないのはアメリカと日本くらいなもの。

×　×

満洲事変から日支事変から太平洋戦争に至るまで、中国人民にもつとも迷惑をかけた日本の姿がこれ。

×　×

外交的な立ちおくれというよりも軍国主義復活の姿勢

議員など 請け負いの実態

監査請求を提出

足寄町政刷新協で

足寄町政刷新協議会では六日に町監査委員にたいしてつぎのように監査請求の手続きをとりました。

請求の要旨

さる十月十六日の臨時足寄町議会において、議員の町との請け負いについては個人たると法人たるとを問名、契約内容とその結果にわずいつさい自粛することを満場一致で申し合わせたのにもかかわらず、そのご申し合せどおりに実行されていないのはまことに遺憾にたえません。

なぜ自粛の申し合せをしたのか、それをなぜ実行できないのかが問題であります。

町行政の公正な運営を期するために、議員ばかりでなく各種委員についても法律で兼業を禁止されていることにかんがみ、このさい議員、委員(法人名義をもふくむ)で町または委員会もしくは町において経費を負担する事業などについて工事、物品供給、労務供給などを請け負つたものの氏名、契約内容とその結果について、昭和四十二年から現在までの実態を年度別に調査して速やかに通知して頂きたい。

有権者50分1の賛成署名で監査

この監査請求は有権者総数の五十分の一以上の賛成署名によつておこなわれるので、協議会では近く手わけして署名運動に入ることにしていますが、現在の有権者は九千五百九十七名なので百九十二名以上の賛成署名があればよいことになります。

町史を汚した議会

○…議員の兼業禁止に違反した事実を十六対八の多数決で否決—これはまずかつたとしてつぎの議会で再議にかけようとしたら、また十一対九で否決

○…法律に違反しようがなんであろうが議会は多数決であればなんでもまかりとおるのだというこの姿は、足寄町史の一頁をいつしよに模疑議会を開催したりして論じあつたあいだがらで、昭和三十年からともに町議会の議席をもつたが、卯年であたりはやわらかいがシンは強い、町長としての私の立場からも地元に道議がいるいないでどれくらい違うかを痛感しており

○…議員の兼業禁止ドス黒く汚したばかりでなく全道の笑い草となつており、日本ではじめての恥かしい珍事件。

○…久保田前議員がどうのこうのではなく、足寄町議会そのものの在り方が問題で、議会が常識をとりもどして正常化してゆくまでねばり強く徹底した町民運動が展開。

○…この事態を傍観していては主権者の町民も同罪。

カメラ
八ミリ
写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄町西一丁目
T二一一二

大自然のなかの人工美
—いで湯のふるさと—
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

有限会社
協栄建設
足寄町西区
T二五六九
小林直道　佐藤善一
中山源吾　山上輝夫

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！
—あらゆる電気具器—
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話2642番

収穫の秋です！
秋冬衣料を各産地から仕入れて参りました。大量に入荷いたしましたので、是非ご用命下さい！
株式会社
前田呉服店
足寄駅前商店街　電話二〇二二番